

第60回 京都市中学校春季総合体育大会

西ノ京中 健闘と栄誉の軌跡！



第60回を迎える京都市中学校春季総合体育大会が4月29日(日)に開幕し、各会場で熱い戦いが繰り広げられました。各部活動の主な結果については、下に掲載した通りですが、5月10日(木)には全校集会をもち、入賞した団体・個人(男子陸上部、男女バスケットボール部)の表彰と春体に参加したすべての部の健闘をたたえ合いました。また、集会の冒頭には開会式での本校選手団の行進の様子を収めたビデオを全員で視聴しました。ビデオには他校の行進の様子も映っており、それと比較するといかに本校の行進が美しく立派であったかがよくわかりました。なお、各部活動の春体の様子は本校ホームページにも写真入りで掲載していますのでご覧いただくと幸いです。

残念ながら思うような結果が残せなかった部活も含め、努力は決して裏切りません。たとえこの春の結果には結びつかなかったとしても、身に付き、蓄積されているものが確実に増えています。その土台となるものを信じて、また次の目標に向かって歩みを進めてほしいと思います。

陸上競技部 学校対抗 男子総合 第2位 !!

男子 11 種目 18 人、女子 6 種目 11 人が出場

決勝 〈男子〉	200m	松浦 佳久	優勝	23"37
	800m	村田 麻弦	第2位	2'01"64
	走幅跳	明石 悠佑	第2位	5m80
	400mR	池田・松浦	第3位	45"94
		吉田・明石		
	400m	池田 悠司	第4位	55"73
	1500m	太田 駿	第6位	4'21"72



女子バスケットボール部 準優勝 !!

2回戦	対衣笠中	110-9 で勝利
3回戦	対同志社女子中	106-29 で勝利
4回戦	対大枝中	70-50 で勝利
5回戦	対西賀茂中	66-21 で勝利
準決勝	対桃山中	45-44 で勝利
決勝	対京都精華中	52-57 で敗退

男子バスケットボール部 ベスト4 !

2回戦	対音羽中	51-39 で勝利
3回戦	対岡崎中	59-46 で勝利
4回戦	対伏見中	61-34 で勝利
5回戦	対修学院中	56-46 で勝利
準決勝	対京都精華中	29-90 で敗退
三決	対二条中	49-66 で敗退



女子ソフトテニス部

団体 2回戦 対勤修中 3-0 で勝利
3回戦 対桂川中 2-0 で勝利
4回戦 対洛南中 0-2 で敗退

個人 4ペアが出場、1～3回戦で敗退



男子ソフトテニス部

団体 1回戦 対松原中 1-2 で敗退

個人 4ペアが出場、1～2回戦で敗退



野球部

1回戦 対龍谷大附平安中 7-6 で勝利

2回戦 対蜂ヶ岡中 0-12 で敗退

サッカー部

2回戦 対音羽中 1-3 で敗退

女子バレーボール部

2回戦 対太秦中 0-2 で敗退

卓球部

女子団体 1回戦 対檜原中 2-3 で敗退

個人 男子3名、女子8名が出場

女子2名が予選通過



柔道部

男子団体 予選 対桂中 2-3

決勝 対下京中 0-5

個人 男子10名、女子1名が出場、予選/リーグ戦で敗退



「努力は裏切らない」

修学旅行 九州/鹿児島 ～旅の学びは五感から～

修学旅行は、日頃の授業では学ぶことができない貴重な体験的学習をすることを目的としています。今年は、5/19～21の日程で九州・鹿児島方面への修学旅行を実施しました。

1日目は、太平洋戦争末期、特攻という人類史上類のない作戦のため多くの若き隊員たちが出撃していった地に恒久の平和を祈念する拠点として開館した「知覧特攻平和会館」を訪れました。平和セレモニーのあと館内で講演を聞き、隊員の遺影や遺書・絶筆と向かい合いました。出撃を前にして、なおも笑顔をとたえる隊員の記録写真が深く胸に突き刺さり、平和に対する新たな思いが胸に湧き上がってきました。その後、鹿児島のホテルに入り、夜はレクレーション大会を楽しみました。

2日目午前は、鹿児島市内の班別研修です。NHK大河ドラマ「西郷どん」でおなじみの西郷隆盛、大久保利通らロマンあふれる明治維新の偉人ゆかりの地を訪ねるのはもちろんですが、最大のめあては何と言ってもお土産選びと鹿児島グルメの昼食。お芋のスイーツ、黒豚、白くま、鹿児島ラーメンなど、時間ぎりぎりまで楽しみました。午後は、日本三大急流の一つである球磨川でラフティング体験。インストラクターの楽しいトークや軽快なオールさばきのおかげもあって、スリル満点の難所をびしょ濡れになりながら次々とクリアしていきました。そして最後は民泊体験の出水市に到着。お世話になる民泊の方々と対面する入村式では、出水市の副市長さんと出水市のマスコットキャラクター



「つるのしん」にも出迎えていただきました。2日目夜から3日目の駅前集合の時間まで、各宿泊先では家業体験以外にも、一緒にご飯やおやつをつくったり、武家屋敷群などの観光スポットに連れていただいたりと様々なプログラムでもてなしていただきました。最後の離村式では、民泊の方を「お父さん、お母さん」と呼んで写真を撮ったり、握手をしたりして別れを惜しむ姿があちこちで見られました。



心配された天候も、3日間持ちこたえ、実際に現地を訪れ、その土地を歩いてみたり、そこに暮らす人々と言葉を交わしたりして、そこでしか感じ取ることができない“空気感”を3年生の若々しい五感で満喫することができたのではないのでしょうか。一生に一度体験できるかできないかの心に残る宝物のような時間を過ごすことができたと思います。

